地域活動支援センター雀の宮作業所
ちゅんちゅん通信

令和７年１０月３１日　発行第４８号
社会福祉法人　宇都宮市社会福祉協議会
地域活動支援センター　雀の宮作業所
〒321-0133　宇都宮市新富町15－25
TEL/FAX（028）655-4091

秋満喫の二刀流！
芸術もスポーツも両方エンジョイ♪

教えてくれたボランティアさんと交流も楽しみながら（令和７年９月４日）

例年以上に厳しい暑さとなった今年の夏も終わりが近づいてきた9月、アート教室の活動として「切り絵」にチャレンジしました。

今回は岡本駅前三区自治会の皆さんを先生として迎えし、カッターを使った細かい部分の作業など、優しくサポートしていただきました。

残暑厳しい中、じっくり作品作りに没頭し、芸術の秋をちょっぴり感じることができました。

▲細かいところは慎重に・・・

▲時間も忘れて集中！

▲上手にカットできました！

▲作品と共に協力いただいたボランティアさんと記念撮影

今年はボッチャを体験チーム戦は同スコアの白熱した戦い！（令和７年10月16日）

秋の行事として企画している「スポレク講座」で今年はパラリンピックの正式種目としてお多くの人に親しまれている「ボッチャ」にチャレンジしました。

3名のボランティアさんに先生としてご協力いただき、河内総合福祉センターで開催しました。

始めはなかなか思ったところに球が飛ばずに苦戦しましたが、何度かプレーするうちに的とのジャックボールに近づくようになりました。

最後は2つのチームに分かれて対抗戦を行い、同スコアの白熱した戦いに盛り上がりました。

▲ボランティアさんとじゃんけんゲームで楽しみました

▲勝者はどっち！？

▲だんだん狙いが定まるように！

我がふるさと栃木の伝統文化をみて、ふれて

Challenge チャレンジ

彫刻屋台に組子づくり　鹿沼の魅力再発見（令和７年７月17日）

社会の いろいろな生活文化を見たり聞いたりしながら、知識や経験を豊かにすることを目標として実施しているチャレンジ体験。今回は鹿沼市の彫刻屋台を見学したり、組子伝統工芸で学ぶ組子づくりを体験したり、身近な鹿沼市の様々な文化にふれました。

さらに、鹿沼市屋台の街中央公園内にある「おこんにゃく茶屋」では地元の方からこんにゃくができるまでのお話を伺い、鹿沼名物こんにゃくを使ったスイーツも味わいました。

伝統文化や食文化など、今まで知らなかった我がふるさとの新たな魅力を感じることができました。

▲小さなパーツの組立！かなり真剣！

▲見事な彫刻に心奪われます

▲完成した組子のコースターと「ハイ、チーズ！」

令和7年8月20日付で、新たにパート職員1名が配属となりました。
新たな仲間が加わりました雀の宮作業所を引き続きよろしくお願い申し上げます。

▲成田和美

New Face!

健康な生活に大事！手洗いの基本を学習

手洗いのプロ、手洗いマイスターが作業所に（令和７年８月28日）

新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけに、手洗いに対する意識が高まりました。また、食中毒などを引き起こす細菌やウイルスにも、年間通して注意が必要です。

それらの脅威から身を守るため、手洗いは大事な生活習慣の一つであり、正しい手洗いで予防効果はさらに高まります。

今回は市保健所の出前講座を活用して、手洗いマイスターさんに手洗いをご指導いただきました。

▲手洗いマイスター登場！

▲特殊な機械で洗い残しチェック

編集後記

▼10月13日、大阪・関西万博が184日間の会期を終え閉幕しました。閉会式の様子が報道される中で特に印象に残ったのが、心と心を通わせたスタッフ同士、スタッフと常連の来場者が別れを惜しむ姿「人が人を想う気持ち」でした。

▼作業所で配付したお菓子を自分で食べず「勉強頑張っている妹にあげる」、「お父さん、お母さんのおやつにあげる」と大事そうに持ち帰る、そんな利用者さんの優しさや心の成長を目にするとき、私の心にも熱いものがこみ上げてきます。

▼多くの知識や能力を身に付けることも人生には必要なのかも知れませんが、心豊かに生きるためには、人が人を想う「やさしさ」・「思いやり」こそが、一番大切で尊いことなのかなと感じています。

【所長　富井浩枝】